

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

舌癌部分切除術後患者における術前口腔機能および握力が術後の栄養状態および筋肉量に与える影響

1. 研究の対象および研究対象期間

2018 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日に昭和医科大学病院頭頸部腫瘍センターにて舌部分切除術を施行された患者さん

2. 研究目的・方法

舌癌部分切除術後の患者さんでは、舌機能低下により食べたり、飲み込んだりする機能が障害され、低栄養や筋肉量の減少（サルコペニア）を生じることが知られています。これらは術後の合併症や生活の質（QOL）の低下、予後不良と関連する重要な臨床課題です。近年、舌の力などの口腔機能は全身筋量や筋力と関連することが報告されており、口腔機能が全身状態を反映する可能性が示唆されています。また、サルコペニアは癌患者さんの予後不良因子であることが報告されています。しかし、舌癌術後の患者さんにおいて口腔機能と全身筋量、栄養状態を統合的に評価した研究は限られています。そこで本研究では、術前の口腔機能および握力が術後の栄養状態および筋肉量に与える影響を明らかにし、術後リスクの予測因子を同定することを目的として解析を行います。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報（年齢、性別、疾患の詳細、手術の方法）、口腔機能（舌の力、口唇の力、口腔の乾燥）、口腔状態（歯の残存状態、入れ歯の有無）、全身機能（握力）、筋肉量（機器を用いた測定結果）、栄養状態（血液検査結果）について解析を行います。

5. 外部への試料・情報の提供

該当なし

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学歯科病院 氏名 那小屋 公太

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学歯学部口腔機能リハビリテーション科 氏名：那小屋 公太

住所：東京都大田区北千束 2 丁目 1-1 電話番号：070-6406-1840